

私立大学情報教育協会
平成27年度
大学職員情報化研究講習会
基礎講習コース報告

A3班

1

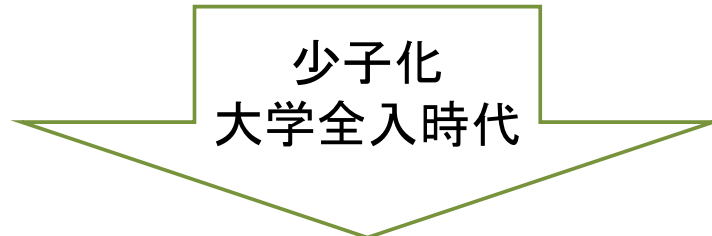
発表テーマ

人材育成におけるICTの利用

2

テーマ選定理由(1) 背景

過去: 大学入学 = 学力の保証



現在: 大学入学 ≠ 学力の保証
小中高で身につけるべき基礎能力の修得・
大学での能力修得が求められる

テーマ選定理由(2) 大学の役割

社会の求める人材育成

- ・自分から動ける能動的な人材
- ・コミュニケーション能力に長けた人間力のある人材
- ・国際化が進む社会でのグローバルな人材
- ・専門知識がある人材

等

テーマ選定理由(2) 大学の役割

役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか

👉大学の質向上を図る

①教育の質

②研究の質

テーマ選定理由(3) 大学の現状

大学として取り組んでいること...

- 課外活動の充実
- PBLの実施(産官学連携)
- アクティブラーニングの環境整備
- 海外提携校の拡大
- イングリッシュカフェの設置
- 外国語のみで行う授業の開講
- 反転授業(ディスカッション)・グループワーク
- 資格取得講座の設置

等

問題点

- ✓ 一部の学生のみが活用
- ✓ 学生が効果的に大学のコンテンツを利用できていない
- ✓ 人材育成につながる授業が効果的に実施できているのか



- ①情報が散乱している・多すぎる＝見つけにくい
- ②ファシリテートできる教員が少ない

解決策の検討

- ①情報が散乱している・多すぎる・見つけにくい

＜解決策＞

段階1: (集約) ワンクリックでお知らせに到着する

段階2: (整理) 他部署と協力し情報表示法のルールをつくる

段階3: (発信) ・SNSの利用

(誘導) ・情報をチャート化(Yes/Noチャート等)

・各個人向けにサービスを展開する
(関連したお知らせを表示)

解決策の検討

②ファシリテートできる教員が少ない

<解決策>

・FD

⇒基本的な教授能力の開発

・ICTツールの利活用

⇒ツールを利用することで、教員の素養だけに頼ったこれまでの授業から、学生に効果的に能力を身に着けさせる授業(AL等)へと転換

大学のイノベーションの提案

・提案の概要

学生への情報提供の整備

授業の質の向上(インタラクティブ型授業の増加)

・何を問題として捉えたか

学生がうまく情報を取捨選択できない現状

インタラクティブ型授業をファシリテートできる人材の不足

・どのようなアプローチが必要か。

他部署・教員と連携

➤ 職員のコミュニケーション能力向上

➤ 職員のファシリテーション能力向上

大学のイノベーションの提案

・解決されたときの姿(学生への情報提供の整備)

学生が容易に情報取得

大学提供コンテンツの利用促進

参加増進

能力の開発・向上

社会が求める人材
の育成

の提案

解決されたときの姿(授業の質向上)

効果的な授業

学生の学びの質向上

能力の開発・向上

当提案の課題

- ・学生に対する継続的利用への意識付け
- ・情報提供のインタラクティブ性